

# ★MIYAKOJIMA★

広報みやこじま

平成27年  
8月1日号  
No.231





今の特集は「戦後70年」です。

区切りの年であることから、全国的に活発な報道がなされていますが、調べるに連れて当時の悲惨な状況が身にしみ、ついにはそれを引き起こした人間の恐ろしさを感じるようになりました。

特に、無抵抗な一般市民が命を落とすなど、あってはならないと思いました。

日本でも周辺事態への対応や集団的自衛権について議論がなされていますが、戦後70年が経過し、戦争を知らない世代が大部分となった現在、経験者からの話はもちろん、現存する資料などから正しく「戦争」の歴史を学ぶとともに、平和を尊び、維持する努力が必要であると思います。

皆さんも、ぜひこの機会に戦争の悲惨さと平和の大切さを噛み締めてください。 (み)

表紙=かつて、郡島本通にあった島田医院。その先生が出征される時の写真をご提供いただきました。(写真提供協力 島田佳雄さん)  
 2ページ=戦時中のある家族の日常。父親と思われる男性は、軍服を着ています。戦争が身近だったことが分かります。(写真提供協力 窪田優子さん)  
 3ページ=郡島区被災区域図。空襲によって市内は焦土と化し、郡島区も区域の大部分を焼失しました。(『郡島区史』より転載)

## 目次

- 3 | 特集  
| 戦後70年
- 6 | インフォメーション
- 9 | 今月の曜一朗
- 10 | 子ども・子育て情報ページ
- 14 | おおさか掲示板
- 20 | 無料相談(8月)
- 21 | 都島Up-to-Date
- 22 | Dr.TABUCHIの そうだ! 禁煙しよう!  
| 禁煙にして 食事も 空気もおいしい店に
- 23 | 月刊Ryusei  
| 皆さまからのおたより
- 24 | みやこじま今昔館  
| プレゼント

特集 戦後70年

平和と きずな

# 特集 戦後70年

第二次世界大戦末期の昭和20(1945)年、  
都島区も空襲により焦土と化し、  
多くの方が被災されました。  
あれから70年。  
戦争の悲惨さを心に刻み、  
あらためて平和の大切さについて考えます。

## 当時の惨状

大阪への大空襲は戦争末期の昭和20(1945)年でした。

3月13日深夜から14日の第一次を始めとして8回にもわたり、死者約1万3千人、被災者約120万人、被災戸数約34万戸の甚大な被害をもたらしました。都島区への爆撃は、第三次の6月7日、第八次の8月14日



▲1945(昭和20)年8月15日未明、前日の空襲でなくなった人たちの遺体をタンカで運び、女学生も手伝っていた。【ピースおおさか(大原国際平和センター)蔵】

した。

6月7日は、「超空の要塞」と呼ばれたアメリカ軍の爆撃機B29が409機襲来。焼夷弾により焼死する人、なんとか逃げ延びるも家を焼き払われる人。怖さを通り越して茫然としたそうです。

また、戦闘機P51も138機襲来。機銃掃射が行われ、操縦者の顔まではっきり見えたそうです。

終戦前日の8月14日、145機のB29が大阪城の北東に位置する兵器製造工場「大阪陸軍造兵廠」に爆撃を実施。午後12時30分ごろ、造兵廠の敷地から川を隔てて北に隣接する京橋駅にも複数の1トン爆弾が着弾。

ちょうど天王寺行きと大阪行きの電車が進入したところで500〜600人の命が奪われたといえます。

駅舎は吹き飛び、線路はアメのように曲がり、瓦礫の山に埋まる死体、幼児を抱きかかえな



▲終戦直前、米軍の飛行機から撒かれたビラ。  
(写真提供協力 浅野明さん)

## 終戦

このように多くの市民を犠牲にした戦争もようやく終結を迎えます。

右に掲載している写真は、終戦直前の頃、米軍が飛行機から撒いたビラです。ポツダム宣言と連合国の駐屯について記されています。

当時このことはあまり信じられなかったようですが、間もなく8月15日に玉音放送がラジオから流れ、日本国民は戦争の終わりを知ることとなります。

## 京橋駅空襲被災者慰霊祭

京橋駅での被災者を祀るため、昭和22(1947)年に慰霊塔が建立され、昭和30(1955)年から毎年、爆撃のあった8月14日に妙見閣寺(旭区)により慰霊祭が営まれてきました。

昨年、60回目を迎え、大阪市立聖賢小学校(城東区)の生徒も参列し、慰霊碑の前で手を合わせました。



▲「戦争は絶対に起こしてはいけない」と、強く平和を願います。(写真は昨年の様子)

慰霊祭も当初は10名ほどの参列だったそうですが、年を重ねるごとに増加し、昨年は約250名に。世話人会の事務局も務める妙見閣寺では、より多くの方に来ていただき、この恐ろしい事実を語り継ぎ、平和のために貢献したいと考えられています。

今年も、8月14日(金)午前11時から、京橋駅南口の慰霊塔前で執り行われます。

## 東都島戦没者追悼式

6月7日(日)13時から青都荘前の榎並地蔵において、戦没者追悼式が行われました。

70年前に都島区で起こった痛ましい爆撃の事実を風化させないように、世代を超えて哀悼の意を捧げられました。

追悼式では、当時のことを知ってもらうため、戦争遺品が展示されました。下の写真は、武

運を祈願して「武運長久」と書かれた日章旗で、入隊の際に作られたものです。

また、内藤磯美さんにより、当時の様子を描かれた絵が展示され、紙芝居も上演されました。

この追悼式により、遺族や関係者の方々に哀悼の意を表するとともに、毎年続けることで、子ども達が戦争のない平和な世界を築くための一助となることを祈念されています。



▲武運を祈願した日章旗を持つ小林英昭さん。後ろは内藤磯美さんの絵。

## 当時の貴重な写真などを展示します

戦後70年を迎え、区民の皆さんから提供いただいた戦争当時の貴重な写真や品物、大阪大空襲の写真パネルなどを展示します。どなたでも自由にご覧いただけます。

展示期間 平成27年8月3日(月)から8月27日(木) 区役所開庁時間内

展示場所 区役所正面入口 ギャラリースペース

[8月14日(金)は一部入れ替えのため、ご覧いただけない場合があります。]

その他、都島区ホームページ、9月26日(土)の区民まつりでも展示します。

都島図書館でも、9月から関連資料などを展示されますので、ぜひご覧ください。



▲都島区ホームページで、皆さんからいただいた写真を公開しています。ぜひご覧ください。

都島区役所 ホームページ（平成 27 年 8 月 1 日）

都島区 戦後70年記念事業

[2015年8月1日]

大阪市民、特に若い世代が、平和の大切さを心に刻み、自分の命を大切にして、困難に立ち向かう意欲を持てるよう、戦争の悲惨さや残酷さを伝えるとともに、改めて平和を考える取り組みを実施しています。

都島区役所でも、戦争の歴史を区民の皆様とふりかえり、記憶を共有し、次の世代につなげていく機会として、戦後70年記念事業に取り組んでいます。

都島区役所 フェイスブック投稿より（平成 27 年 2 月 9 日）

都島区役所

【戦後70年：戦前～戦後の都島の写真・動画を集めよう！】

区長の田畑です。

かつて都島本通と中通にあった島田医院。その先生が出征される時の写真を、島田様（区内在住）からご提供いただきました。…もっと見る

いいね！ コメントする シェアする

石川 善三 歴史を勉強するのは、この時代どんな経緯があって、この様な事になってしまったのか！間違いを繰り返さないため…貴重な写真ですね！ありがとうございます。自分に課別感が与えられ無い。命で戦争に行かされるのに！？…もっと見る

いいね！ 画像 1 2015年2月9日 13:47 編集済み